

## 2023年度 社会福祉法人 高崎福祉倶楽部 事業計画

### 1. 基本方針

社会福祉法人として「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、基本理念である「生きる喜びを支えるケア」と「その人らしさを大切に一人ひとりの生活を支援する」の実現のため、基本サービスの充実、生活環境の向上を図ります。

新型コロナウイルス感染症拡大による経営面・生活面への影響は依然として大きなものがあります。引続き感染対策を怠ることなく、人材育成と経営基盤の強化を目指し事業の安定的・継続的経営に努めます。

### 2. 重点項目

- ① BCP 策定(感染症及び災害対策)と訓練の実施
- ② ICT の活用、多様な人材の活用(外国人技能実習生や留学生を含む)
- ③ 科学的介護(LIFE)の活用
- ④ 規程の見直し
- ⑤ 地域交流事業
  - ・ 地域活動(介護予防体操)の再開
  - ・ ホームページによる広報活動の継続

### 3. 予算(借入金償還を含む)・事業別計画 ※別紙参照

### 4. 会議計画

- |                         |     |          |
|-------------------------|-----|----------|
| ① サービス責任者定例会議           | 月1回 | 各事業所の責任者 |
| ② 安全衛生委員会・危機管理委員会(①と同日) | 月1回 | 各事業所の責任者 |
| ③ 給食会議                  | 月1回 | 各事業所の責任者 |

### 5. 研修計画

- |   |     |
|---|-----|
| ① 職員研修(オンライン、zoom 等含む)                            | 月1回 |
| ② 看取り・喀痰吸引の研修                                     | 年1回 |
| ③ 感染予防、事故、身体拘束防止に関する研修                            | 年4回 |
| ④ BCP(業務継続に向けた訓練も実施する)                            |     |
| ⑤ 外部研修への参加 (※認知症介護初任者、実践者、リーダー研修等及び身体拘束防止、リスク管理等) |     |

### 6. 修繕・購入計画

- ① 照明器具のLED化
- ② 外壁補修工事(定期検査時の不具合)

### 7. 職員採用計画

- ① ホームページの活用、ハローワーク、派遣事業者との連携、介護福祉士養成校や社会福祉協議会、シルバー人材、有償ボランティア等の活用
- ② 外国人技能実習生(外国人特定技能を含む)の受入れ

## 2023年度 特別養護老人ホーム悠ゆう 事業計画

入居者一人一人の QOL に視点を当てたケアの質の向上のため、ICTの活用幅を広げ、感染防止優先からサービスマナーを意識した支援に転換します。

これまで以上に口腔ケアに取り組み誤嚥性肺炎、感染症の予防を強化することで稼働率改善に繋がります。また、感染対策を継続し施設稼働率 98%を目指します。

### 〈目標〉

1. 認知症の理解と対応力向上
2. 科学的介護 LIFE の活用

### 〈実施計画〉

- ① 施設内研修への参加促進（認知症の理解、アセスメント、サービスマナー等）
- ② ICT 活用とチームケアの構築
- ③ 感染対策の継続
  - ・職員、入居者の体調管理（陽性者、濃厚接触者の待機期間）、換気、消毒
  - ・必要物品の在庫管理、ゾーニング等の確認

## 機能訓練

### 〈目標〉

生活リハビリの充実を図る

### 〈実施計画〉

- ① 残存機能維持を目的としたレクリエーションの実施
- ② 生活歴を踏まえた住環境の整備と日常生活の充実を図る
- ③ 誤嚥性肺炎・感染予防を目的とした口腔体操の実施

## 給食

### 〈目標〉

食べる楽しみと経口摂取の維持

### 〈実施計画〉

- ① 食欲を刺激する献立、食事形態の工夫による経口摂取の維持
  - ・季節感や生活感のある食事の提供
- ② 栄養ケア計画に基づく経口摂取機能の適切な評価
  - ・多職種の評価を基にした嚥下調整食の提供

## 健康管理

### 〈目標〉

健康維持と感染症予防

### 〈実施計画〉

- ① 健康管理と観察ポイント、疾病と服薬について
- ② 看取り、褥瘡予防、感染症の予防等についての研修
- ③ 事故予防と発生時の対応
- ④ 職員の健康診断（腰椎予防対策を含む）

## 2023 年度 デイサービスセンター青葉 事業計画

「住み慣れた地域で暮らす」を目標に在宅生活が維持できるように通所介護、介護予防・総合事業を提供します。

### 〈目標〉

ご利用者様の一人一人の心身状況を確認しながら日常生活が送れるように支援します。個別にその方にあった認知機能の向上を目的とした運動・脳トレを提供していきます。

### 〈実施計画〉

- ①土曜日営業の週6日変更し10名定員で利用者様、ご家族のニーズに応じられるように支援して行く。
- ②軽費老人ホーム、短期入所事業、居宅事業者やあんしんセンターと連携し新規利用者を獲得する
- ③個別機能訓練の特色化をはかり機能低下を予防する
- ④地域における認知度アップを目指し積極的な情報発信をする  
(青葉便り配布の継続)
- ⑤地域活動「歌って笑って健康体操」の継続により地域住民との交流をはかる  
(今後に向けての開催方法を検討して行く)

## 2023 年度 ケアプランセンター悠ゆう 事業計画 (案)

住み慣れた地域で自立した在宅生活を継続できるよう、一人ひとりの心身の状況、および生活環境に応じ、利用者の選択に基づき、適切な保健・福祉・医療サービスを総合的かつ効率的に提供できるよう努めます。

### 〈目標〉

- ①新規利用者数の確保(稼働率の維持向上)
- ②多専門職種・地域・関係者との連携・協働の強化
- ③感染症対策の強化

- ・近隣病院(医療連携室等)、地域包括支援センターや社会資源を活用しネットワークの構築、新規利用者の確保(稼働率の維持向上)ができるように活動を継続する。
- ・地域の一員として、地域住民や周辺自治体の情報収集に努め、他専門職との連携を図り、事業所の存在をアピールする。
- ・常に最新の情報を所得し、施設内外で共有を図り、持続可能で質の高い介護サービスが提供できる環境を整備する。

## 2023年度 ケアハウス グリーングラス 事業計画

入居者一人ひとりが自立した生活を送れるよう自助、互助、共助及び公助の適切な組み合わせに留意し支援します。

### 〈目標〉

ご利用者の意欲や健康維持に努めます。

入居待機者に関しては待機者の状況把握に努め、関係各所との連携を持って待機者維持に努めます。また、コロナ感染症対策緩和・見直しの場合、安全を確保した上で外出支援の再開も検討します。

### 〈実施計画〉

- ①入居者様の心身状況の変化に迅速かつ適切に対応するためご家族や担当ケアマネとの連絡、情報の共有化を図る。
- ②健康チェック（血圧、脈拍、体温、体重の測定）の月1回以上の実施と年1回以上の健康診断を促す。
- ③参加人数、時間、場所の工夫により感染症防止策に留意し、介護予防体操や行事を楽しんで頂けるよう努める。
- ④コロナウイルス感染症対策が緩和された場合、安全を確保出来る体制をもって外出レク等を実施したい。
- ⑤施設内居宅と連携、市内の居宅事業所を中心に定期的案内を行い待機者確保に努める。